

# 隨泉寺寺報

平成 21 年 (2009 年) 11 月号 第 471 号

TEL 082-892-0217 http://www.zuisenji.com/

浄土真宗本願寺派 高峯山隨泉寺

後期門信徒講座

講師 法泉寺住職 川上 順之師

浄福寺副住職 山下 瑞円師

講題 『私の壁を貫く光』 『御恩報謝』

【書きつくる 跡に光の かかやけば 冥(くら)き道にも 闇ははるらむ】  
『梅尾 明恵上人』(先師の書き残した尊い教えは、光となって、私を迷いの暗い道を明るく照らして下さる)

今回の御講師は私のいとこのご子息です。いとこは私と同級で子供の頃から兄弟のように育ってきました。二人で神石から一緒に高校にいきました。大学も一緒でした。迷惑の掛けしでした。その後付かず離れず、いつも一緒に生きていましたが、今から 12 年前に突然お浄土に還っていきました。そのいとこがなくなった時、高校 1 年生だった彼が御講師として来寺されます。感慨無です。



また山下師は同じく同級生の山下義円師のご子息です。楽しみに誘い合わせてお参りください。

## 11 月の法座予定

- 11 月 8 日 ..... 掃除 荒野
- 11 月 8 日～15 日 ..... 菊花・絵画展
- 11 月 14 日 昼席午後 1 時より ..... 後期門信徒講座座
- 11 月 14 日 夜席午後 7 時より ..... 出張法座 荒野集会所
- 11 月 15 日 朝席午前 10 時より ..... 役員研修会 おとき
- 11 月 15 日 昼席午後 1 時より ..... 後期門信徒講座座
- 12 月 2 日 午後 4 時より ..... 門信徒会本部役員会 忘年会

## ☆菊花展・絵画・手作り作品展 11 月 8 (日)～15 日 (日)

うすくこく うつろふ菊の まがきかな

これも千草の花と見るまで (頓阿 草庵集)

【釈】籬の菊は日に日に色を変えてゆき、薄かったり濃かったり、ばらつきがあるよ。これもまた秋の千草の花と見える程に。

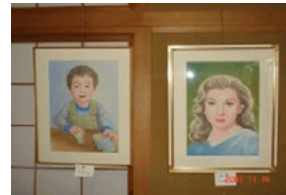


今年も菊花・絵画展に加え、手作り作品展を開催します。毎年少しずつ、新しい人が、お寺にきれいな花が展示してあるということで、見に来てくださいます。



門信徒の中で菊の花の鉢植え・絵画・木工・陶芸・絵手紙・手作り作品等ありましたら出展下さい。又、隣近所でこれぞと思われる方がおられましたら、声をかけてください期間

は 11 月 8 日～15 日までの予定です。楽しみにしています。自薦他薦を問いません。絵画だけでなく、陶芸や木彫、刺繍・絵手紙なども、歓迎です。



出品される方は 8 日の午後にお寺まで持ってきてください。



## ☆役員研修会

「自信教人信」という言葉があります。これは、「みづから信じ、人を教へて信ぜしむること」という意です。しかし「他人に信じさせる」ということに力点を置くと、自信が自慢に、さらに驕慢になってしまう恐れがあります。「私は信じたゾ。さあ、あなたたちも信じなさい！」では、信の押し付けです。

「自ら信じたところを人に教えてゆくところにまた信あり」と解して、「私がよろこんだことを伝えることによって、またわたしの信心が深まっていく」と私の勉強の機会といただけたらいかがでしょう。

役員研修会を開催します。役員の方はお念仏のご縁をいただく時と心得て、近所の皆さんを誘ってたくさんお参り下さい。

## ☆御礼

永代経懇志	金	拾萬円	竹本 清殿	故	竹本 綾子様	特	永代経志として
永代経懇志	金	拾萬円	五反田明殿	故	五反田 享様	特	永代経志として

## ☆御礼

門信徒会へ	金	一封	竹本 清殿	故	竹本 綾子様	香典返しとして
-------	---	----	-------	---	--------	---------

## おかげさまを見る目

## おかげさまを感じる力

兵庫県には、県立の盲学校がありますが、視力のうすい子どもや、全然見ることのできない、闇の中を生活している子どもたちの学校です。

その学校に、全盲の六年生の子がいたそうです。その全盲の六年生の子が、

「先生、そりや、見えたら、いっぺん、お母ちゃんの顔が見たいわ。でも、もし見えたら、ぼくなんか、あれも見たい、これも見たいということになってしても、気が散って、ダメになつてしまうかもわからへん。見えんかてにどういふこともあらへん。

先生、そりや、見えへんのは不自由やで、でも、ぼく、不幸やおもたことあらへん。先生、不自由と不幸はちがうんやね」と

といったというのです。

この子は、お母さんの顔さえ見ることのできない世界、光のない世界を生活しているのです。でも、何という明るさでしょうか。何という頼もしさでしょうか。

さて、この子は、なぜこんなに明るく、たくましく生きることができているのでしょうか。「おかげさまを見る目」これが、彼のいのちには恵まれているからではないでしょうか



## ☆どこで待つのでしょうか？

この頃御講師さんとお風呂屋さんによく行きます。お泊りになられる御講師さんの中に、近くにスーパー銭湯【お風呂屋さん】が無いかとよく尋ねられます。夜席までの間に汗を流したいとのこと。それで近頃御講師さんのお供で、近くのお風呂屋さんに出かけます。



平日の昼下がり、夕方近くですが、男風呂はガラガラと思いきや、結構人が入っておられるのです。それも60過ぎの比較的元気な人々です。びっくりです。これもよく考えてみると、昨今の世情をあらわしているのでしょうか、今不況で定年になられた人が、第二の就職もなかなかうまくいかず、あるいはここらで少しゆっくりしたいと思っておられる人が、のんびりとお風呂に来ておられるのでしょうか。

近所の顔なじみの人が、連れ立ってきておられるのか、たまたまここで会うのか判りませんが、3、人の方が風呂の端に腰掛けて、大きな声で話しておられます。お

風呂の中で世間話に花が咲くのです。聞くとは無しに聞いていますと話題は三つです。ひとつはパチンコです。近頃私はパチンコに行かないので、何のことやらさっぱりわかりません。新しいパチンコ台のはなしです。『今度の【決戦スタートレック】どうや』『ありゃだめだわ、むずかしい』みんなはわかっておられるのでしょうか、そうだそうだと相槌をする人、文句を言う人、話は盛り上がります。私にはまったくわかりませんし想像もつきません。仏教の話もこれと同じなのかもしれません。興味のない人にとっては言葉も内容もまったくわかりません。意味が解らないので眠たいだけです。今までまったく関係のなかった人に仏教の話をどう伝えていくか、大切な問題です。



二つ目は病気の話です。『この頃腰の具合が悪くて、』とか『血圧が上がって心配だ』とか『糖尿になった』とか……。どここの病院が血圧には良いとか、安佐市民の先生が腰の専門家だとか、情報交換の場所です。

いまひとつはお葬式の話です。『おい昨日あそこの葬式は、△△の〇〇ちゃんか、どうしたんや、』『どうも肝臓がんらしいで、まだ若いのに……。』『ありゃわしよりひとつ上かいの、三月ほど前にわしが入院しとったとき、一緒に部屋やった』『わからんもんじゃのお』『こないだも##の〇〇ちゃん亡くなった。だんだん心細くなるよのお』『おい先に逝ったら待っててくれーよ、』『待ってくゆうてもどこで待ってくんや』『そりやー……。』『どこで待つのでしょうか？』



## ☆ 見えない真実を聞く

あまり小さいものは見えないし、あまり大きくても視野におさまらないのが私たちの目です。紙一枚でさえぎられても見ることはできません。形のない電気も、色のない風も、すがたのない心も見ることにはできません。

しかし、電気はピリッと肌で感じるすることができます。なびく草木の姿で風を知り、うなる電線の音で風を知ることができます。

如来は見るることのできない存在ですが、教えをして心に思い、悩みや苦しみ悲しみの中で、そのお慈悲を感じ取ることのできる存在です。

老病死を生きて苦悩を免れることのないわたしゆえに、いのちを知る人間と生まれて、そのことを知り得たがゆえに、限りあるいのちの中で不滅の真実を聞くという大きな幸せに会うことができるのです。

まことに、如来は、闇路に迷うわたくしたちのために現れて下さった光【無幸】であり、嘆きの中に滅びようとする私たちを抱き取るために立ち上がって下さったいのち【無寿】でありました。